郵便
報知新聞
第五百廿七号
人にハ其程をつるものとそれ孤に化ふ
されさうな人が丁度化され幽灵より
出逢さうな人が出逢ふ者にて渡會縣
伊勢の國山田田中の中世古村の何某ハ
妻もあり子もありながら遊里通ひ
のみしてありしにつまハ病ひに臥
て久敷枕もあがらず月を經て死り
至りしかども深くも傷まで乳母を雇
ひて我子を養ひ居しに乳の足らで
日にく瘦りをるを始て込妻のあり
あべ斯ハあじ抔思ひつゝ寝さる夜半
に込妻の枕辺に來り怨の救と言立
泣入子を抱取乳房含せるに驚
き思ひず阿と一声喚びたるに姿ハ消て
ハあとうのかげあのくらくなりしと
大蘇
彫多